

AMSTW(福祉の靴技術社)の靴

anatomical and medical shoe technique for welfare

AMSTWが供給する靴は、ドイツ整形外科靴技術の考え方を取り入れて、解剖学的、医学的観点を踏まえて開発される靴ですので、「歩くための道具」としての靴本来の機能性に優れているだけでなく、様々な足部・脚部の疾患や障害にも対応できるように、色々な配慮が払われています。

いずれも、一人一人の足の状態に対応した個人用のフットベッド(足底板)を装着するために、フットベッド(中敷)が脱着式になっています。

また、100%国産の少量生産品は、変形や痛みを伴う一人一人の症状に対応するために、本底への再加工はもちろんのこと、左右のサイズの違いや、容量の違い等への対処も可能です。

そのようなAMSTWの靴は、生活用品として市販されている靴とは異なって、多様な症状に対応できる技術者が提供することを前提に生産されていますので、一般靴店での販売は予定されていません。

ただ、AMSTWの靴は、障害や疾患がおありの方にとってだけではなく、トラブルの自覚のない方たちにとっての「歩くための靴」としても最適ですので、個別対応が必要でない方のためには、私たちが開発した日本人にとって標準的なフットベッド(Anatomical Foot Bed)をセットにして提供しています。

エルデの会員価格は、特別の対応をしていない状態で、このAnatomical Foot Bed を装着した場合の価格です。

履いて頂いて・・・

40代 女性 [J] を履かれて・・・

「少し開張足」という以外は、トラブルのない健康な足の方ですが、足幅が広く、甲高で、体重もおありのため、どんな靴を履いても靴がすぐ変形してしまい、甲革が底の幅よりも広がり、荷重が外側へかかって歩行が不安定になってしまう、という悩みをお持ちの方。

幅広タイプの[J]は、本底の幅が充分な上に、中底やヒールカウンターがともしっかりしているので、びっくりするほど安定して歩けるとのこと。

教員のお仕事で広い学内を歩き回ったり、また、愛犬のお散歩にも・・・と、活躍しているようです。

30代 男性 [A] を履かれて・・・

強度の扁平足、踵骨の外反、O脚で、昨年より足底板を使用して頂いて、少しずつアーチの形成が見られ、足の疲れが改善しておられる方。

2足目に[A]を使用されて、「最初のよりも、特に中底がしっかりしている点が、足底板の効果をさらに引き出している感じで、とてもいいです」とのご感想を頂きました。

70代 女性 [H] を履かれて・・・

長く関節リウマチを患っておられ、足趾の変形の手術後の快復が思わしくなく、特に長時間過ごす室内での履物に困っておられた方。

これまでは、ベルト付きのサンダルでお作りしていましたが、足のむくみが出ると圧迫感が強く、充分にご満足頂けませんでした。

[H]をご使用頂いたところ、容量があって、しかも甲のベルトで調節でき、スリッパ形式なので着脱も楽、フットベッドは標準のものを使用されましたが、ソフト感のあるほど良いアーチサポートがよく足に合って大変具合が良いとのこと。「外用にも」と、パンチングのない[I]もご購入頂きました。

皮膚が少しでも擦れたり、圧迫されたりすると気になる状態でいらっしゃいますので、内張りを肌に優しいアルカンターラにしたのが良かったと思われまます。

[A]～[N](Gを除く)は、いずれもアルカンターラ仕様ですので、皮膚のデリケートな方には最適です。

50代 男性 [A][B] を履かれて・・・

筋肉を壊死させるピブリオ菌に感染して足首から足底にかけての筋肉を切除した後遺症により、足趾を曲げる筋肉が拘縮し、歩行が困難になっておられる方。

5月に足底板を作製し、[A][B]に入れて使用して頂いたところ、足運びがスムーズになり、歩行量が増加、使用后1ヵ月半で筋肉の拘縮にも改善が見られます。ご自身も靴の効果にびっくりしておられるとのこと。

足底板の機能だけでなく、トゥスプリングの効いたアウトソール、たっぷりのトゥボックスで曲がった趾を圧迫しない、ソフトなライニングなどの機能の効果と思われまます。

「裸足で履いたら最高」と、内張りの快適さをご指摘下さいましたが、糖尿病による合併症がおありのため、細心の注意を払って対処させて頂かねばと思っています。

個別対応が可能な製品 (表示価格は、標準仕様の税別会員価格)

[G]～[M]は、男女共通の21.0～29.0cm



足底板を装着できる製品 (表示価格は、Anatomical Foot Bed 装着の税別会員価格)

女性サイズのみ

